

# 2017年度の大会計測の方針

2017.3.03

ルール計測委員会 荒川 渡

## 1. 大会計測のシステム

- ① 全日本選手権／夢の島は大会グレードに適応し、IOD95艇 および 新型フォイル を使用し、セール、フォイル、スパーの計測・ハル重量計測 のフル計測 を本年も継続します。
- ② 全日本以外の JODA大会 (最終選考会／江の島 ('17年3月)、及び東／西日本選手権) は簡易計測を実施します。
  - 最終選考会では 一次選考会 (全日本) でハル重量計測を行わなかった艇で参加する場合にはその艇は重量計測が必要です。
  - チームレース広島は、全てがチャーター艇である事を理由にレース前計測は実施しません。
  - 簡易計測とは、本来行うべき 寸法、面積と重量 を計測せず、計測証明書とシリアルNo.を検査するものです。

## 2. 2017年クラス規則 適応開始日について

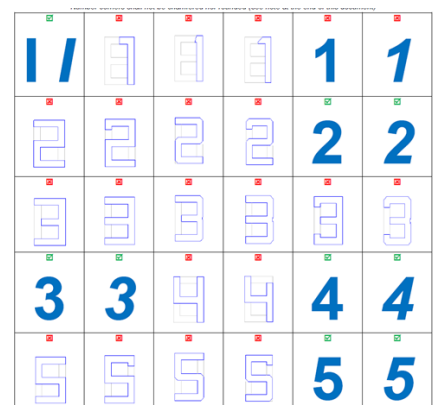
今年は異例な事に、2017年3月3日現在に於いて IODAから 2017年クラス規則は公示されておられません。ちなみに 2016年クラス規則の発効日は2016年1月1日と書かれていました。通常はそれから翻訳作業を開始して遅くとも2月には和訳版を国内で公表できたので、特に問題はありませんでした。今年については最終選考会が JODA大会として3月に開催されるので、この大会は2016年規則を適用します。また、今後については原則として 2017年規則の日本語版がJODA公式HPに掲載された日付以降の大会を 2017年度規則の国内適応大会とします。

## 3. 従来艇は JODA大会参加時に 計測証明書を… すべての装備品について提出して下さい。

従来艇の時代には、ハルのみ計測証明書があり、セール、フォイル、スパーにはありませんでした。このため当時は全ての装備は大会で実計測を行いました。IOD95艇の採用で 全装備が証明書の提出となり、従来艇との差がありました。「従来艇は計測証明書が無くても良い」との措置は、従来艇からIOD95艇に規則変更された猶予期間との位置づけで、クラス規則改訂後20年を限度として、2015年から猶予を解消しています。現状はほとんど従来艇の参加はありませんが、参加される場合には 従来艇にもすべての装備品に計測証明書が必要 とご理解ください。  
理由：2014年以前の従来艇は大会で計測証明書に代わる実計測をしていた。計測委員会はほとんど参加しなくなっていた従来艇にも 常に実計測に対応・準備しなければならない事に負担が大きかった。

## 4. セール上の識別 (デジタルナンバー) の規制について

RRS G1.2(a) に “国籍文字とセールナンバーは、はっきりと読みやすく” と書かれていますが、いわゆる デジタルナンバーはこの条件を満たしてはいません。スタートやフィニッシュ時に運営は読み間違いをしやすいのです。これに対して昨年IODAから通告があり、「2016年8月15日以降はデジタル文字／ナンバーのセールを計測証明してはならない。」と規制されました。大会計測ではセールのタック付近にある公式計測員のサインの日付が2016年8月14日以前であれば デジタルナンバーのセールはレースで使用が可能です。



## 5. 計測証明書（基本計測）を扱う各地の計測センターと公式計測員について

レースに出場する艇の装備には クラス規則に適合している事を認証する「計測証明書」が必要です。  
 また、セールについてはナンバーを変更すると その「計測証明」は失効しますので再計測が必要です。  
 スパー類には シリアルNo. の消えているものがあり、計測証明書との一致が困難なので再計測が必要です。  
 この証明書発行資格は JSAF認定の公式計測員が行います。OPクラスは現在18名(次ページ右)が認定されています。  
 この18名は 各自の都合があり、いつでも計測を受付けてくれるとは限りませんが、計測センターでは常に  
 受注する態勢を取っているため、各水域の計測をバックアップする 各計測センターをご利用下さい。

- 01 **横浜計測センター** 〒234-0051 横浜市港南区日野 7-30-3-201 宇田川 真帆 宛 [ring4580@gmail.com](mailto:ring4580@gmail.com)
- 02 **横須賀計測センター** 浦島さんが ご病気の為、休業中
- 03 **海陽計測センター** 〒459-8001 名古屋市緑区緑花台 1709 荒川 渡 宛 [arakawa@spice.or.jp](mailto:arakawa@spice.or.jp)
- 04 **大阪計測センター** 〒532-0031 大阪府大阪市淀川区加島 4 丁目 6-9 田中 令江 宛 [mame-t@silver.zaq.jp](mailto:mame-t@silver.zaq.jp)
- 05 **広島計測センター** 〒731-0236 広島市安佐北区可部町綾ヶ谷 1970 吉川 徹一 宛 [ikikkawa@cosmos.ocn.ne.jp](mailto:ikikkawa@cosmos.ocn.ne.jp)

なお、計測センター以外の公式計測員（**OM**）に依頼されて新装備品の基本計測を受ける事は可能ですが、  
 シリアルNo.の判読不能による再計測、セールナンバー変更に伴う再計測については、特にコストを抑える意味  
 でお近くの **OM** に、依頼されても OK です。依頼される場合には JODA 計測受付 田中（大阪計測センター）  
 を通して申込下さい。

公式計測員名簿

2017.3.02 現在

荒川 渡  
 水野 幸夫  
 浦島 正道  
 中澤 良和  
 田中 令江  
 深沢 文彦  
 小屋 忠史  
 矢野 荘一郎  
 河内 孝明  
 仲 彰英  
 三上 智春  
 吉川 徹一  
 桐井 敬祐  
 宇田川 真帆  
 関 慶  
 竹内 賢太郎  
 村松 哲太郎  
 山田 耕充

## 6. クラス規則の普及活動について

OP のセーリング ライフ をより楽しむために、基本となるクラス規則を学びましょう。  
 過去の OP級計測講習会の開催歴は、2017年／高松、2016年／江の島、2015年／江の島、  
 2013年／蒲郡、小戸、2012年／広島、葉山、2010年／江の島、2008年／江の島、  
 2007年／西宮、2005年／別府、江の島、etc… と開いてきました。  
 今年は4年任期の**OM**にとっての資格更新年にあたり、各地で開催されます。  
 既に高松（2月24-25日）を終了し、今回研修された、数名の**OM**候補者が、JSAFに認定されれば  
 初めて四国水域に誕生する予定です。  
 次は 広島（4月22-23日）で開催されますので、関心のある方はご参加ください。  
 なお、今後とも **OM** および準計測員が少ない水域を優先して開催したいと考えています。  
 開催を希望する 水域／クラブは ルール計測委員会 荒川 までご連絡ください。